

安保破棄ニュース

No. 534
2021. 10. 15

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

ついに 対米従属の政治を 終わらせる時が来た！

2012年12月に返り咲いた安倍内閣以降、対米従属の政治が急速に悪化しました。

13年8月には政権の意のままに法解釈を変更できるように内閣法制局長官の首を挿げ替え、先ずは国民の目や耳をふさぐ特定秘密保護法を成立させ、かねてから狙っていた国家安全保障会議を設置。

直ちに日本として初めて「国家安全保障戦略」を概ね10年程度の期間を念頭に置いて策定し、それを踏まえての「防衛計画の大綱」が「統合機動防衛力」の構築を基本的な考え方として策定され、その「大綱」が示す目標達成に向けて5年間の「中期防衛力整備計画」が立てられました。

以後、安倍政権はこの「戦略」に沿って対米従属の政治を深化させ、20年12月には、安倍政治を継承した菅政権がいよいよ「専守防衛」をかなぐり捨て、事実上憲法違反の「敵基地攻撃能力」保有につながる閣議

決定を行いました。

15年9月に強行成立した「戦争法」は、自衛隊を日本が攻撃されていなくても、米軍と共に海外で戦争することができるように変質させてしまい、今では実戦を想定した日米合同演習が頻繁に行われ、ついには、台湾問題を通して緊張が高まる米中対立にのめり込み、一歩間違えば偶発的な衝突から自衛隊を現実の戦闘に参戦させかねないところまで来ています。

そんな中、10月4日に岸田政権が誕生し、8日には所信表明演説が行われました。

しかし、「特技は人の話を聞くこと」という彼の演説は、まったく「国民の声」が届いているとは思えず、彼の言う「人」とはいったい誰のことなのでしょう。

さて、先日自民党の総選挙に向けた「政策」が発表され、その大きな柱の一つが『毅然とした日本外交の展開』と『国防力』の強化で、日本を守る』です。

その中で、先ず外交の面で強調されているのが「日米同盟を基軸に」という相変わらずの対米従属の姿勢であり、核兵器禁止条約にはひと言も触れていません。

その一方で、国防力については明らかに中国を意識して防衛力を抜本的に強化することがうたわれ、「新たな国家安全保障戦略・防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画を速やかに策定し」「国防予算を対GDP比目標（2%以上）も念頭に」増額を目指すことさらなる軍拡路線を表明し、「相手領域内で弾道ミサイル等を阻止する能力の保有を含めて、抑止力を向上させる」と、憲法違反の「敵基地攻撃能力」の保有を打ち出し、沖縄

県民の「民意」を聞かず辺野古米新基地建設を「着実に進め」と明記しています。

対して、9月8日に市民連合から示され、4野党が総選挙での「共通政策」として掲げて戦い、その政策を実現する政権の実現に全力を尽くすことが合意された「提言」には、「憲法に基づく政治の回復」が第1の柱として示され、軍事一辺倒ではなく「平和憲法の精神に基づき、総合的な安全保障の手段を追求し、アジアにおける平和の創出のためあらゆる外交努力を行う。」「核兵器禁止条約の批准をめざし、…」ということなどが表明され、「地元の合意なく、環境を破壊する沖縄辺野古での新基地建設を中止する。」と明記されています。

この違いこそが憲法を活かし「国民の声を聞く」政権か、憲法も守らず「国民不在の政治」を強行する政権かの、あまりにも大きな違いです。

10月31日投票の総選挙で、私たち国民自身の手で、「国民の声を聞く」政権を実現しようではありませんか。

23 宣伝行動

安保破棄大阪実行委員会23定例宣伝行動を9月22日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。通算で、398回目の行動です。

10人の参加で、ビラ配布と、プラスターなどをもつてのスタンディング、弁士による訴えを行いました。

弁士は、大阪憲法会議、大阪AALA、大阪労連、日本共産党から出していただきました。

立ち止まって、横断幕や、普天間基地のタペストリーなどを見ていく人が結構いました。

また、迫る総選挙のことを話題として話しかけてくる男性もいました。

残暑のきつい中ではありましたが、ビラの受け取りも結構よかったです。

10月の23宣伝行動は、選挙期間中になることもあり、制約がかかるので、中止とします。

次の23宣伝行動は、11月22日です。



諸団体の取り組み、当面の予定など

10月

31日(日) 第49回衆議院議員総選挙投票日

11月

10日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～)

13日(土) 日本母親大会 オンライン

20日(土) 日本平和大会(10:00～ オンライン)

22日(月) 大阪安保23定例宣伝行動(12:00～淀屋橋)

27日(土) 「2021 沖縄連帯集会 in 大阪」

(13:30～ 大阪グリーン会館2階ホール オンラインと併用)

12月

1日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～)

4日(土) 近畿安保オンライン学習会

「名護市長選挙をたたかうに当たって」(14:00～16:00)

18日(土) 大阪憲法会議「学習会」(午後 此花区民センター)

23日(木) 大阪安保23定例宣伝行動(12:00～淀屋橋)

大阪安保の事業活動

ほほえみりんご はじめました



一箱10kg入り
4700円です。

ご注文受付中です。お届けは12月
から順次行います。

来年2月25日まで受け付けま
す。

ご注文は、大阪安保まで、Fax
かメールでお願いします。

多くのご注文お待ちしております。

2021 沖縄連帯集会in大阪 延期のお知らせ

全号の安保破棄ニュースで、「20

21 沖縄連帯集会 in 大阪」を10月
23日(土)に開催するお伝えして
いましたが、総選挙が10月19日公
示、同31日投票で行われることにな
ったため、集会を延期することと
しました。

すでに予定して下さっていた
方々もおられるでしょうが、ご了承
ください。

**延期の日程ですが、11月27日
(土)となりました。会場も変更にな
り、大阪グリーン会館2階ホー
ルとなります。**

菅首相が政権を投げ出し、岸田内
閣が発足しました。頭が変わっても、
その本質は全く変わることはありません。
岸田新首相も、普天間基地変
換の手段として「辺野古が唯一」と
いう姿勢は従来の内閣と同じです。

完成の見通しも立たない基地の建
設のために、
巨額の税金
を投入し、自
然環境を破
壊し、戦没者
の遺骨の入



った土砂を埋め立てに使うような非人道的な
ことまでしようとするなど、許されることでは
ありません。それに、辺野古新基地建設をす
すめたとしても、普天間基地が返還される保証
がありません。

普天間基地の返還を実現し、沖縄の基地負担を根本的に軽減する
ためには、アメリカに対して、本気でその要求を突きつける政府を
つくらなければいけません。

また、来年1月23日投票で行われる予定の、沖縄・名護市長選
挙において、「辺野古に基地は造らせない!」と、強く掲げる市政へ
と転換しなければいけません。

このたたかいは、「戦争する国づくり」を止め、アメリカ言いなり
の政治を終わらせるためのたたかいです。全国が力を合わせてた
かう必要のある選挙です。

今までも、安保破棄大阪実行委員会としても、名護市長選挙には、
現地支援行動やカンパを送るなどの活動を強く進めてきました。コ
ロナウイルス感染拡大の問題があり、今まで同様の活動を展開でき
るかどうかはまだはつきりしていませんが、それでも、現地と連携
をとって、できる限りの活動を進めていく方針です。

11月27日の集会開催時には、一定の方針も確定する予定です。是
非、ご参加ください。

ZOOMアプリを使用しているオンライン併用の集会としますので、
オンライン参加希望の方は、メールで安保破棄大阪実行委員会まで
お申し込みください。折り返し、ZOOM IDとパスワードをご連絡
いたします。

